



国際シンポジウム 宣教師の日本語文学・ 漢語文学とド・ロ版画

キリスト教がもたらした多文化的融合

日時 **2019年3月15日(金) 9:30開場**
会場 **上智大学・ソフィアタワー 6号館 303教室**

総合司会：井上章一

第1部

宣教師の日本語文学・漢語文学

10:00～11:15

郭南燕：宣教師の日本語文学とプティジャン版の視覚的表象
肖清和：宣教師の漢語文献の集成
宋莉華：近代宣教師の漢語文学

◆休憩 (11:15～11:30)

◆コメント (11:30～12:15)

高祖敏明：プティジャン版にみるキリシタン言語へのこだわり
沼野充義：日本語文学に与えた宣教師の貢献
李天綱：東アジア言語による宣教師の著述



第2部

ド・ロ木版画における多文化的融合

13:30～15:10

司会：川村信三

李丹丹：上海におけるイエズス会ヴァスール神父の絵画
鄭巨欣：ヴァスール原画とド・ロ版画との比較
白石恵理：ド・ロ版画に読む日本的イメージ
内島美奈子：九州におけるド・ロ版画の収蔵

◆休憩 (15:10～15:25)

◆コメント (15:25～16:00)

谷口幸代：ド・ロ版画と日本語文学・日本美術
石上阿希：浮世絵から考えるド・ロ版画

◆質疑応答と全体討論 (16:00～16:40)

◆総括：井上章一、郭南燕 (16:40～17:00)



発表者・コメンテータ

鄭巨欣 (中国美术学院)、李丹丹 (上海明珠美術館)、肖清和 (上海大学)、宋莉華 (上海師範大学)、李天綱 (復旦大学)、
沼野充義 (東京大学)、谷口幸代 (お茶の水女子大学)、高祖敏明、川村信三 (上智大学)、内島美奈子 (大浦天主堂キリシタン博物館)、
井上章一、石上阿希、白石恵理 (国際日本文化研究センター)、郭南燕 (日本語文学者)